

3名の講師が解説します！

ラボオートメーション(実験自動化)による

1名分料金で
2人目無料

研究開発効率向上の実践的アプローチ【LIVE配信】

- ◆日時: 2025年9月22日(月) 12:30~17:00
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

＜第1部＞ 研究開発を革新する ラボラトリーオートメーションシステム (12:30~14:00)	＜第2部＞ ラボオートメーションによる 実験の再現性向上と R&D効率化のポイント (14:15~15:45)	＜第3部＞ 生成AIを活用したラボオートメーション (16:00~17:00)
(国研)日本原子力研究開発機構 物質科学研究センター 研究主幹 大澤 崇人 氏	京都大学 大学院工学研究科 材料工学専攻 助教 林 博之 氏	山形大学 有機エレクトロニクス研究センター 教授 兼 副センター長 松井 弘之 氏
【プログラム】 ※内容を省略して掲載しております。 詳細はHPでご確認ください。	【プログラム】 ※内容を省略して掲載しております。 詳細はHPでご確認ください。	【プログラム】 ※内容を省略して掲載しております。 詳細はHPでご確認ください。
1. ラボラトリーオートメーションの現状	1. 導入:なぜ今ラボオートメーションか	1. ラボオートメーションの実施例
2. ラボを自動化する戦略の立て方 2-1. 誰がシステムを開発するのか 2-2. どんなシステムを目指すべきなのか	2. 自動化に必要な基礎リソース 2-1. ロボットアームの種類と選定指標	1.1. プリントド有機エレクトロニクスの紹介 1.2. 全自動実験システム 1.3. コンビナトリアル実験 1.4. ベイズ最適化
3. これが究極の ラボラトリーオートメーションシステムだ 3-1. 自動即発ガンマ線分析システム 3-2. 半自動Sr-90分析前処理システム 3-3. 自動Se-79分析前処理システム	3. 実例で学ぶ反応プロセス自動化 3-1. 湿式法:分注装置の改良ステップ 3-2. 固相反応法: スラリー分注・遠心分離・焼成	2. 実験機器のリモート制御 2.1. リモート制御に必要なハードウェア 2.2. リモート制御に必要なソフトウェア 2.3. PyVISAを用いた リモート制御プログラムの開発 2.4. 具体例および実演 2.5. ラボオートメーションの課題
4. 面倒な実験の自動化に役立つ発明品 4-1. 減圧ろ過を簡便にする「ろかすま」 4-2. 外部制御可能なマイクロピペット 「ぴぺすま」 4-3. 有機元素分析用試料被覆装置など	4. 導入プロセスと費用・安全設計 4-1. どんな仕事を自動化すべきか: 作業内容/目的別チェックリスト	3. 生成AIを活用したラボオートメーション 3.1. 実験の現場で求められること 3.2. ChatGPTを活用した リモート制御プログラム開発 3.3. 具体例および実演
5. ラボラトリーオートメーションの未来	5. データ管理とラボ内RAG 5-1. 実験データベースと 自動解析パイプライン	
	6. 今後の展望:自動化から自律化へ	

『ラボオートメーション【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-Mail	
①			
②			

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>